

※取付工事後、必ずこの説明書をお客様にお渡しください

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は建物換気用としてダクトの先端に取り付けて使用するものです。正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよく読み、お使いになる方がいつでもご覧になれるよう、必ず保管しておいてください。

本説明書内の記号説明 安全にお使いいただくために必ずお守りください。
**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

**強制**

行為を強制・指示する内容があることを示します。

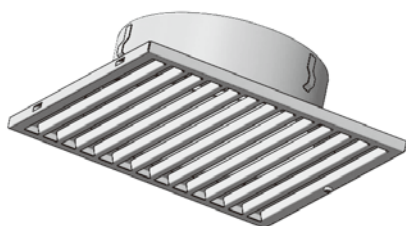
**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**禁止**

禁止の行為であることを告げるものです。

対象製品 本説明書は次の製品を対象にしております。お手元の製品をご覧のうえ、お取り扱い方法をご確認ください。



- ・ CSG

- ・ CSG-D(防火ダンパー付)

- 材質 SUS304

- 本製品は軒下天井面取り付け用です。

工事店様へ
**警告****取付場所**

防火ダンパー付製品は、密閉式燃焼設備、及び半密閉式燃焼設備（給湯器、風呂釜等）の排気ダクトには使用しないでください。排気熱で防火ダンパーが作動しますと、燃焼設備の不完全燃焼の原因となり、非常に危険です。

**取付方法**

取り付けの際は、躯体等強度の十分な所へ確実に取り付け、コーキング、ネジなどでしっかり固定してください。（落下によりケガをしたり、周囲の物品等を破損する恐れがあります）

**取付位置**

防火ダンパー付製品は、保守点検が容易にできる場所以外では使用しないでください。

**ヒューズ**

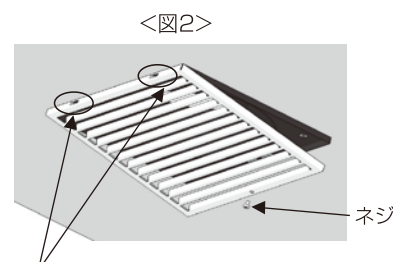
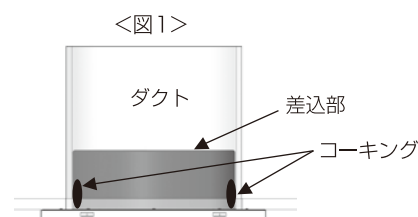
防火ダンパー付製品について、温度ヒューズ交換の際は専用温度ヒューズをご使用ください。

**注意****手袋**

取り扱いの際は、手袋をしてください。（材料の切り口や角でケガをすることがあります）

施工方法 必ずお読みください。

1. ネジをゆるめ、フェイスを取り外します。
2. 枠の差込の外周部にコーキングを塗布し、ダクトに挿入します。（図1）
3. アンカー用穴4ヶ所を固定用ネジ等で確実に留め壁面に固定します。
4. フェイス凸部を枠の穴に合わせてからネジでしっかりと留めます。（図2）
（φ100・φ125・φ150はフェイスの凸部が枠の穴とはまり合う構造になっています。取り付けの際はフェイス凸部を枠の穴に合わせてからネジでしっかりと留めてください。φ200・φ250はネジ止め方式が異なります。）


施工の際は以下の点にご注意ください！

- 施工時の運搬などお取り扱いには十分注意し、破損・変形のないようにしてください。
- コーキングは柔軟性を保つものをご使用ください。
- 使用後の養生テープは長時間放置しないでください。
- 本製品は焼付塗装仕上げです。塗装面に化学薬品がつくと、剥離、変色、錆発生の原因となります。
 - ・タイル仕上の外壁に取り付ける場合、**外壁の酸洗い後**に取り付けてください。
 - ・吹付塗装仕上の外壁に取り付ける場合、**吹付塗装後**に取り付けてください。
- 排気ダクトの施工の場合は、ダクトを外壁に向かって1/100以上の下がり勾配をとってください。
- 給気ダクトの施工の場合は、ダクトを外壁に向かって1/30以上の下がり勾配をとってください。

フェイスの凸部を枠の穴に合わせてからネジでしっかりと留めてください

お客様へ

メンテナンス

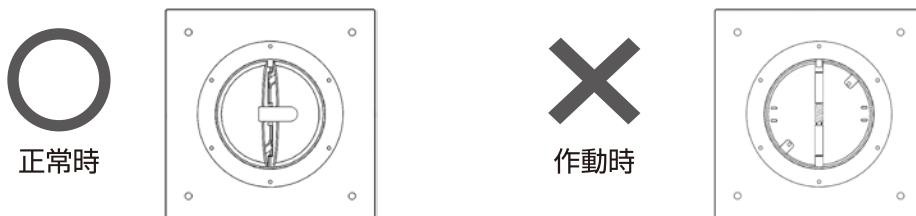
警告

- フェイス取り付け 点検・清掃の際、フェイスを外した場合は、確実に取り付けてください。落下すると怪我をするおそれがあります。
- 足場に注意 フェイスの取り付け・取り外しは上を向いての作業となりますので、転倒しないように安定した足場を確保してください。
- ヒューズ ダンパー付製品のヒューズは定期的に点検をしてください。ヒューズが何らかの原因で作動してしまった状態だとダクトがふさがれて換気ができなくなり危険です。ヒューズは温度によって異なりますのでご注意ください。

注意

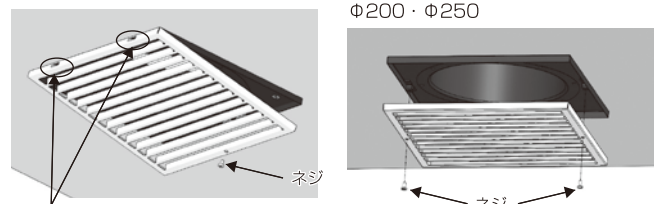
- 手袋 取り扱いの際は、手袋をしてください。（材料の切り口や角でけがをすることがあります）
- 定期清掃 3ヶ月に1度は点検・清掃をしてください。環境により埃や塩分・鉄分等でまらい錆が発生することがあります。

ヒューズの点検方法 ※交換は管理人様または工事店様へご依頼してください



■定期的に点検・清掃してください。

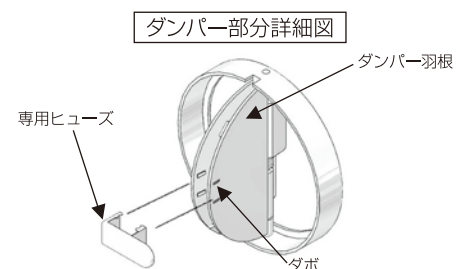
- フード部のガバリ・網付製品の網は、定期的に点検・清掃してください。
- ネジを外し、フェイス部及び網を水拭きしてください。汚れのひどい場合は毛先の柔らかいブラシなどに中性洗剤をつけ、目詰まりを取ってから水拭きしてください。有機溶剤をつけて拭いたり、ワイヤーブラシなどでこすると塗装が剥がれてしまうことがありますので、おやめください。



Φ100・Φ125・Φ150はフェイスの凸部が枠の穴とはまり合う構造になっています。取り付けの際はフェイス凸部を枠の穴に合わせてからネジでしっかりと留めてください。（Φ200・Φ250はネジ止め方式が異なります）

■防火ダンパー付製品の温度ヒューズ交換方法

- フェイスのネジをゆるめ、フェイスを取り外します。
- 閉じたダンパー羽根を引き起こし、専用ヒューズの爪が両方の羽根が重なった中央のダボの溝にはまるように取り付けます。この際、溶接したヒューズ片を取り除き、ダンパー羽根の開閉が正常であることを確認してください。
- フェイスをネジでしっかり留めます。



■防火ダンパーおよび防火ダンパー付き製品について

防火ダンパーおよび防火ダンパー付き製品は、必ず定期的（概ね1年以内ごと）に点検を行ってください。以下のような場合は清掃、復帰、修理、交換が必要になります。保守・修理事業者などの実務技術者にご依頼ください。

・防火ダンパー、防火ダンパー付き製品の防火ダンパー部分

- ①著しい錆や変形が見られる場合
- ②ヒューズを外してもシャッターが錆や汚れで固着して作動しない場合
- ③その他の異常が認められる場合

・温度ヒューズ

- ①表面が黒ずんでいたり、緑青が見られる場合
- ②表面、裏面に油脂やホコリ、汚れが付着している場合
- ③歪みや変形が見られる場合
- ④ハンダ部分に割れや浮きが見られる場合
- ⑤その他の異常が認められる場合

温度ヒューズは消耗品です。材質となるりん青銅とハンダは耐久性の高い金属ですが、設置環境によっては劣化が早く進むことがあります。防火ダンパーが作動すると換気が行えなくなりますので、速やかに復帰作業を行ってください。

また、復帰作業は保守・修理事業者などの実務技術者にご依頼ください。